

年度初めにあって

福島県九条の会共同代表

今野順夫

2025年度は、「戦後80年」、「広島・長崎の被爆80年」の年であり、日本国憲法施行78年の年である。明治憲法（大日本国憲法）の59年に比しても、20年ほど長く日本の最高法規として定着してきた。1952年に日本は、アメリカによる占領から「独立」したが、日本国憲法の戦争放棄・戦力不保持の規定にもかかわらず、1世紀近くも米軍基地の存在を許し、戦力ではないとする「自衛隊」を保有してきた。しかし、戦後80年、日本の自衛隊は、一人の外国人も殺さず、一人の戦死者を出さずにきたことは、憲法9条の存在と平和を希求する国民世論と運動のおかげである。



しかし現在、戦争をする国づくりが急ピッチ（大軍拡）ですすすめられている。20年前（2005.2）に設立された「福島県九条の会」の憲法改悪反対運動は、その重要性を増している。安倍内閣、菅内閣、岸田内閣、そして現在の石破内閣は、憲法改悪の動きを強めており、私たちの役割はますます大きくなっている。

最近の総選挙の結果、自公政権下で、与党過半数割れが生じて、憲法改悪発議も困難になっている。しかし、野党の分断を図りながら、改憲への危険が増している。

核兵器禁止条約が成立しているものの、日本政府は、情けなくも、これに背を向けているが、日本被団協が、昨年ノーベル平和賞を受賞した。これは、日本の平和運動の輝かしい成果である。これに確信をもって、9条を守り、活かす活動が重要となっている。

2025年度は、本会創立20周年にふさわしい、9条を守る運動を展開していかなければならない。郡山市で開催した昨年8月の本会主催の全県集会には、約700人が集い、参加者に大きな確信をもたらした。また、全県各地の九条の会は、憲法記念日を中心に憲法学習・講演会を開催し、平和を堅持する力を広げている。その際、世代を超えて、運動が継続されるよう、新たに有権者となった高校生も含め、全世代に呼びかけることが必要である。

さらに最新の全国署名（「税金は暮らしの拡充に、戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名」：略称＝大軍拡反対請願署名）の取り組みを通じて、各地域・領域での目標数を掲げて、個別の結びつきを強めていく必要がある。

3月に発刊したブックレット No.12（『鈴木安蔵・鈴木義男と日本国憲法の誕生～福島県出身の「ダブル鈴木」～』・金井光生著）は、福島県民の運動に確信を与えるものであり、財源確保の上からも、広範な普及が期待される。

全県すべての地域・領域等で、各個別九条の会を確立し、独自又は共同の講演会や行動を企画していこう。5月24日の第14回9条の会東北交流会（盛岡市）に代表を派遣するが、オンライン（YouTube）でも配信されるので、個別九条の会が中心になり、視聴する会等の組織化が必要である。県九条の会が、地域・領域等での運動の組織化・支援の点で、大きな役割を持っており、独自の会員拡大も重要である。団結して、ともに闘いましょう。

ブックレット12が発行されました

『鈴木安蔵・鈴木義男と日本国憲法の誕生』

今回ブックレットNo.12として福島大学行政政策学類金井光生教授ご執筆の『鈴木安蔵・鈴木義男と日本国憲法の誕生 ～福島県出身の「ダブル鈴木」～』（A4判、64頁）が3月1日に発行されました。

終戦直後、南相馬市小高区出身の鈴木安蔵が中心の憲法研究会が作成した「憲法草案要綱」がGHQに高く評価され、また、白河市出身の鈴木義男は帝国憲法改正小委員会のメンバーとして実質審議に参加しました。憲法学者の「ダブル鈴木」が「日本国憲法」の誕生にどう関わったかを明らかにする内容です。

ブックレットのバックナンバーのご紹介

福島県九条の会では、日本国憲法の学習を深め、さらに護憲活動の一環として、震災前の2009年以来これまでにブックレット全11巻を発行してきました。

いずれも貴重な内容で、まだ残部がありますのでご希望の方は「事務局」までお申し出ください。（1冊500円です）

バックナンバー一覧

No	発行年月	表題	執筆者等
1号	2009.3	福島県が生んだ平和と人権の先駆者たち	吉原泰助
2号	2009.5	21世紀の世界と「日本国憲法」	真木實彦
3号	2011.7	憲法9条へ寄せる思い「ふくしま九条の会ニュース」	県内の32名
4号	2014.6	いま、私たちはどこにいるのか	真木實彦・伊藤宏之 伊藤昌太
5号	2015.11	「九条」今だからこそ一戦争か平和かの岐路で考える	吉原泰助
6号	2016.12	恐るべき自民「憲法改正草案」	福島県九条の会
7号	2018.6	戦争体験・日本国憲法そして原発事故	県内15名
8号	2019.10	「福島県九条の会」の憲法を守る闘いの軌跡とこれから	菅田俊雄
9号	2020.7	原爆投下の「時」を生きて	星埜惇
10号	2021.6	日本復帰50年を迎える・沖縄からの声	沖縄県の7名
11号	2022.2	原発事故から10年が経ってこれからのこと ～憲法と人権を考える～	福島県浜通りの13名

* 申込方法：氏名・送り先住所・号No・冊数をメール又は電話・Faxで県九条の会事務局までお知らせ下さい。メールアドレス fks9jou@gmail.com

* 郵送料等値上げのため財政的に非常に厳しい状況にあります。振込用紙を同封いたしますので、恐縮ですがカンパもよろしくお願いいたします。

九条の会紹介 ④

郡山九条の会

「前川喜平講演会」の取り組みについて

郡山市九条の会事務局

菅原信正



(前川喜平さん)

五年前からコロナ禍で、郡山を会場にして準備されていた全国革新懇の「原発シンポジウム」や憲法を守る集まりなど軒並み中止となっており、しかし、安倍内閣の集団的自衛権行使可能の閣議決定以来の自公政権へとつながる中で、憲法無視・軍拡に歯止めがかからない状況が進んでいました。しかし、郡山九条の会の活動も集まりを持つことなどでできず停滞気味でした。

そんな時、県九条の会から、郡山を会場にして、全県の「前川講演会のつどい」を開催したいとの話が持ち込まれました。郡山会場で大きな集まりを持つからには、絶対成功させ、情勢に合った運

動の再出発にしなければとの思いで取り組む決意をしました。

早速、郡山市九条の会連絡協議会を中心に各民主団体にも呼び掛けて相談会を持ちました。郡山市九条の会結成時の原点を確認しながら、これからの情勢に見合った運動をどう進めていくかの意識をもって進めました。

第一に、十八年前の郡山九条の会結成時、郡山市での各界を代表するような方々が寄せた熱いメッセージ（日本国憲法は人類の英知、平和の保障、自由の保障、絶対に戦争を起こしてはならない）の原点に返って、再度市民に訴える。

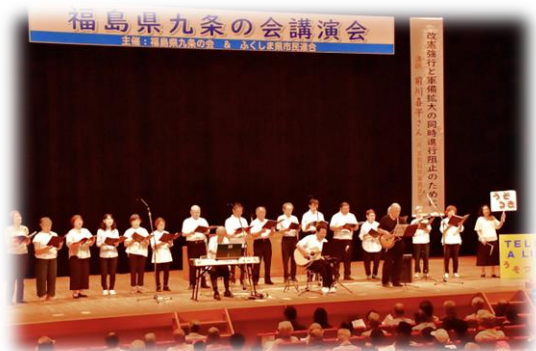
第二に、特に「自公政権軍拡前のめり」の情勢の中では、戦争問題は体験者の思いとだけにせず、全世代、特に若い世代との交流を進めながら運動を広める。

第三に、軍拡を憂慮している市民へのアピールをできるだけ広く届くようにする。

入場整理券の普及活動だけでは、どうしても組織頼りになりがちなので、日本が戦争への危険を憂慮している多くの方々に如何に広くお知らせしていくか。そして、参加していただくかの思いを持ちました。

郡山独自の宣伝チラシを作りました。一回しか取り組みませんでした。郡山駅前での街頭宣伝チラシ配布をしました。また、今までの九条の会での種々のつどいなどに参加されていたいろいろな方々に向け百通を超えるお手紙を送りました。このお手紙では、何人かから参加問い合わせの反応がありました。当日券入場になったと思います。

青年の方々には、当日、会場での役割をもって参加してもらうようお願いします。九条の会結成時のような各界、各団体との対話やオルグ活動、マスメディアへの後援依頼、公民館や商店へのポスター掲示依頼など幅広い取り組みはできないようになってしまいました。今日の石破内閣大軍拡推進の情勢下では、「平和を求める、戦争は絶対にさせない」の多数の思いをより広く結集する必要があります。九条の会の活動がますます求められているとの認識で再構築するのが私たちの課題となっています。



(郡山合唱団)

イベントのご案内

憲法集会

日時：5月3日(土・祝) 13:30～15:40

講演：ビキニ事件・第五福竜丸について

講師：市田 真理

都立第五福竜丸展示館 学芸員

公益財団法人第五福竜丸平和協会事務局長

広島・長崎の被害に比べても、よく知られているとはいえないビキニ事件ですが、原水爆禁止運動の原点であり、日本被団協結成を後押しした世論の高揚は第五福竜丸の被災だったのだと思っています。事件当時、福島県内からも第五福竜丸乗組員にたくさんの励ましの手紙が送られました。

そんなことも、ぜひこの機会に皆様にご紹介できれば・・・とも考えております。

会場未定。(福島市市民センター大ホールを予定しています)

第14回 9条の会東北交流会

日時：5月24日(土) 13:00～

第1部 13:00～14:50

記念講演 猿田 佐世

「外交で平和を作るとは何か」
～一人ひとりができる事～

第2部 14:50～

9条の会東北交流会

申し込み

9条の会東北交流会実行委員会事務局

電話 019-684-2225

締め切り 5月16日(金)

YouTube でライブ配信

<https://www.youtube.com/live/kWzid23xqE>

※県内に10カ所程度 YouTube のライブ
配信会場設営を予定しています。決まり
次第お知らせ致します。

平和が大好き、人権、くらしが
たいせつ！

さ ら た さ よ

猿田佐世 さん

記念講演 第1部 13:00～14:50

トランプ米大統領になった今、私たちは
世界をどうとらえたいのでしょうか！

講演テーマ
外交で平和を作るとはなにか
～一人ひとりができること～

2025 5/24 13:00～16:00 (土)
プラザおでって 3階ホール
盛岡市中ノ橋通 1-1-10

入場無料 1部も2部も、どなた
でも参加できます。

第2部 9条の会 東北交流会 14:50～
東北の各地から、平和を守るための最前線の活動や、ユニーク
でまたたくする9条の会の取り組みを紹介します。

参加申し込み ①または②のどちらかで申し込みください。
① Googleフォームから
② 組織・団体名(またはご住所)・お名前
・電話番号を、事務局までお知らせください。
電話・FAX・メールからの手配でも結構です。
おいたいた個人情報は、厳重に管理いたします。

申し込み締め切り 5月16日(金)

講師プロフィール
・新外交イニシアティブ (IND) 代表
・弁護士 (日本・ニューヨーク州) ・立教大学講師
・冲縄国際大学特別研究員
・平和教育学会常務理事、タンザニア憲法審議会委員、NGO 活動など
を経て、2002 年以降に4回米露、露独人権問題の仲裁士兼委員を務
め、2009年以降ニューヨーク州弁護士登録。米露、露独問題として、米露
の両側面について米露両方で自ら通訳を務めたり、日本の国連委員や知
府の国連委員の両方から通訳を務め、露独問題も日本代表、露独、露米
問題、TPP 問題、日本領有権外交問題に加え、日本列島のシステム191国
と国連に191国に加盟する米露両方の通訳を務め、2017年(第1回)
・国連「平和の賞」に選ばれる「平和の使者」(国連「平和の賞」の授与) 2014年
・平和100周年・青井利雄賞 / 日本代表として2021年(第1回)国連平和
賞に、米露両方に選ばれる。

講演の様子は、YouTubeでライブ配信いたします。
<https://www.youtube.com/live/kWzid23xqE>
日曜日の状況によりご覧いただけない場合もございます
ますのでご了承ください。

問い合わせ先 岩手県生協連/岩手県消団連 9条の会 東北交流会実行委員会事務局
〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3 電話019-684-2225 FAX019-684-2227
メールsn.kenren@todock.coop 岩手県生協連

発行元 福島県九条の会

発行責任者 福島県九条の会共同代表 今野順夫

編集担当 福島県九条の会事務局

菅田俊雄、菅野家弘、渡部幸一、長谷川秀輝

※投稿歓迎 ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

連絡先：福島県九条の会
事務局長 加藤衛雄

〒960-8157

福島市蓬萊町三丁目 6-3

TEL・FAX 024-549-3330

メールアドレスが変わりました！

E-mail: fks9jou@gmail.com